

## 「3.11からの出発」活動のご報告 No.16

### 小友小学校 12 回目の訪問——2014 年 11 月 4 日

訪れるたびに、いろんなところが整備されて、美しくなっていくのを見るのはうれしいことです。今回は、運動場がすばらしくなっていました。土盛りをして、白い砂が敷かれ、広くなったのです。そこで、子どもたちが、近く行われるマラソン大会に備えて練習に励んでいました。赤い帽子の1年生が、高学年の大きな子どもたちにまじって一所懸命走っているのが、頭の赤いマツチ棒が散らばって踊っているようで、とてもかわいらしく見えました。

今回も低学年と高学年、2組にわけてお話。低学年は、「三枚のお札」、「マーシャとくま」、「魔法のかさ」。おまけが「だんなも、だんなも、大だんなさま」。

高学年は、「やめとガブス」。驚くほどの集中力で聞いてくれ、物語が聞き手の心にしみとおっていく手ごたえを感じました。回を重ねるごとに、聞く姿勢ができていくのを感じます。インドネシアのお話だったので、ついでにもうひとつ、インドネシアの昔話「りこうな子ども」を紹介して、一部を読んで聞かせましたが、これが、思いのほか喜ばれました。人さらいにさらわれた子どもが、知恵で人さらいをやりこめて無事家に戻る話ですが、子どものかしこさにシャッポを脱いだ人さらいが、子どもをうちまで送り届けたところで、「なんだ、いい人じゃん」と、つぶやいた子がいたとか。満足げな子どもたちの様子を見て、「いい話ひとつ見つけた!」と、わたしもうれしくなりました。

お話のほかに、松ぼっくりとどんぐり、それに羊毛を使って、来年の干支の羊を作りました。デモンストレーションだけで、実際に作る時間はなかったのですが、材料を置いてきたので、あとで作ってくれたのではないのでしょうか。羊のお話に、適当なのが見つからなかったので、マザーグースの「メリーさんのひつじ」をみんなでうたいました。子どもたちの声のいいこと、歌の上手なことに感心しました。

午後、初めて先生方と話し合いの機会をもちました。わたしたちの訪問が、こちら本位の身勝手なものにならないように、できるだけ先生方や、子どもたちの希望も入れて行えるようにしたいと願い、まずは先生たちのご要望を聞きたいと設けた会でした。はじめのうちはみなさん遠慮なさっていましたが、そのうちにぼつりと、離婚家庭、母子家庭、父子家庭が多いので、家族をテーマにしたブックトークをしてもらえたら、ということばが出てきたのに胸をつかれました。屈託なく見えている子どもたちも、それぞれ重いものを抱えているのかも知れない。ひとりひとりの心のうちには立ち入れないけれど、お話が力になってくれればよいかと祈らずにはいられませんでした。

(松岡享子 記)





初めて小友小学校を訪問した2011年6月以来、1学期に1回お話を届け、一人ひとりに希望する本をプレゼントする活動を続けてきました。3年を経た今、子どもたちも毎回の訪問を心待ちにしてくれるようになりました。今まで感想をもとめることなくきましたが、今回、子どもたちからお手紙をいただいて、お話の楽しさを手渡すという積み重ねがしっかりと受けとめられていると感じました。

第1回目の訪問で、松岡理事長が語った「番ねずみのヤカちゃん」に体をゆすって笑っていた子どもたちの姿が思い出されます。あの時、1年生だった子は4月からは5年生、3年生だった子が3月には卒業です。継続は力なり。一過性でなく、息の長い支援をこれからも続けていきたいとあらためて思います。

(小関知子 記)

### 3年生と6年生の子どもたちからのお手紙より

本を聞いて、おもしろくて、おちつくなと思いました。

三年生の時は、最初やった時だけかと思、たけど、何回も来ていたおもしろいお話でした。話しの内容が松岡先生の話し声でイメージがつかえる、ありがとうございました。

まっおかせんせいへ  
またきたらばねずみのおかちゃんおもしろいお話読んでください

はくは、前来た話もして材料が心に残って、理由は、みんなでも神様持いのりしてからお金に変えたことかたかた

(「やめとガブス」を聞いて)

東京子ども図書館のみなさんのお話は、とてもおもしろくて本が無くても聞いているだけで内容がわかります。

津波で本が流されてしま、たけど、みなさんがくれた本を今までも大切に読んでいます。  
中学校に行、てみなさんのお話が聞けないのは残念ですが、いつまでも体に気をつけて、がんばってください。

公益財団法人 東京子ども図書館

〒165-0023 東京都中野区江原町1-19-10 Tel.03-3565-7711 Fax.03-3565-7712 URL <http://www.tcl.or.jp>

振込先 ゆうちょ銀行/郵便局 口座記号番号 00130-9-115393 加入者名 公益財団法人 東京子ども図書館

\*報告のバックナンバーは、ホームページでもお読みいただけます。